

平成23年度
福祉産業共同研究事業
応募要領

～大学等と札幌市内の事業者が行う共同研究を支援～



公益財団法人北海道科学技術総合振興センター

NOASTEC

福祉産業共同研究事業の応募書類は
当財団のホームページでダウンロードできます。
<http://www.noastec.jp>

公 募 締 切

平成 23 年 7 月 13 日(水)必着

※札幌市の補助事業(予算)の決定後、速やかに事業を開始できるようにするため、予算決定前に公募案内を行うものです。したがって、平成 23 年度の補助事業の決定が前提であり、かつ、今後内容等に変更があり得ることを予めご了承ください。

1 福祉産業共同研究事業の目的と概要

福祉産業共同研究事業は、「札幌市産業振興ビジョン」に定める札幌市経済の成長を牽引する重点分野の1つである「健康・福祉」分野のうち、医療・介護・看護・福祉分野の産学官による共同研究、研究開発の促進を目的とした補助事業です。大学等の研究者と札幌市内の事業者が行う共同研究を対象とし、直接研究に必要な経費を補助します。

2 応募の要件及び助成の条件

【対象となる研究開発】

①冬期安全安心対応型福祉産業研究開発補助金

大学等の研究者と事業者が共同で実施する基礎・応用研究で、冬期に安全・安心に生活できる器具やサービスの創出につながる研究開発テーマが対象です。

②新分野融合型福祉産業研究開発補助金

大学等の研究者と事業者が共同で実施する基礎・応用研究で、医療・介護・看護・福祉分野と食・IT・デザインなどの分野が融合することで、質の高い製品やサービスの提供につながる研究テーマが対象です。

※技術的開発要素を含まず社会科学的な調査研究のみの課題は対象外です。

※福祉産業の振興が目的のため、単なる食品の研究開発は原則として対象外です。

【対象者】

道内の大学、短大、専門学校等に所属する研究者と札幌市内に事業活動の拠点を有する事業者（NPO法人等を含む）で構成された共同研究グループ

※研究代表者は大学等の研究者であることが必要です（事業者は研究代表者になれません）。

※ポスドク以上を対象とし、学生は不可とします。公設試の研究者は対象外です。

【研究期間】補助金交付決定の日から平成24年3月20日まで

【補助金額】200万円以内（補助対象経費の10/10）

【採択予定件数】①、②合わせて6件程度

【補助対象経費】

研究を遂行するために直接必要となる下記の経費を対象とします。なお、本補助金は、共同研究グループを対象としているため、原則、共同研究グループ構成事業者からの物品等の調達は認められません。（特別な理由があり調達する場合は、調達価格において利潤を見込まないこと。）

旅費※ ¹	研究に直接的に関わる研究者・研究補助者旅費、外部専門家・技術指導員等招聘旅費
謝金等	外部専門家・技術指導員等に係る技術指導費及びコンサルタント費
原材料・消耗品費	研究の遂行に直接要する試薬、資材、部品、消耗品、書籍等の購入に要する経費
研究補助員賃金※ ²	研究実施場所に一定期間出勤して、研究の遂行に直接必要な実験補助等を行う者に対する賃金
通信・運搬費	研究の遂行に直接要する切手、宅配料等の経費
機器リース料	実験装置、測定機器、その他設備・備品等であって、研究遂行に直接使用するために、その賃借・リースに要した経費
機器購入費※ ³	研究の遂行に必要な機器・設備類の購入に要した経費
施設及び設備等賃借料	実験装置、測定機器、その他設備・備品等であって、研究の遂行に直接使用した場合、その使用に要した経費
外注費（調査・分析・加工など）	●調査費：研究の遂行に必要な各種調査業務を外部に委託する経費 ●分析：研究の遂行に直接要する試薬、資材、部品の製作および外注分析に要する経費 ●加工：研究の遂行に必要な機器・設備類の製造費、改造費、修繕経費等
その他の経費	上記の他、研究の遂行に必要と認められる経費

次のものは補助対象経費となりませんので注意してください。

- ① 土地及び建物の購入または借上料等に係る経費
- ② 施設等の改造費、既存設備・機械の使用料、固定資産税、水道光熱費等
- ③ 食料費、接待費、会食費等の個人消費的経費
- ④ 他の用途との併用となっている旅費

※1：合計40万円以内とし、国内旅費に限ります。また、交通費は実費（ただし、特別車両料金、特別船室料金、特別席料金等を除く）とし、宿泊費及び日当については、原則として、各所属機関の規程によることとしますが、規程類が未整備の場合は実費を基に算定します。

※2：共同研究チームに属する研究者の賃金は除きます。単価及び支給基準は、各所属機関の規程等を準用してください。また、雇用に関する契約等に基づくことが前提となります。

※3：合計100万円以内とし、パーソナルコンピュータ、プリンタ、コンピュータ周辺機器、デジタルカメラ等の汎用物品は原則として補助対象外とします。

3 応募の手続き及び日程

(1) 提出書類

- ① 研究補助金申込書（様式1～8）：原本（1部）と写し（5部） 合計6部

※必ず片面印刷とし、左肩をホチキス留めしてください。

※研究代表者の他に参画する研究者すべての押印が必要ですのでご注意ください。

- ② 提案データ入力表：1部

- ③ 上記①及び②の電子データ：1式

※申込書（様式1から8）はMS-WORD、提案データ入力表はMS-EXCELにて作成の上、CD-R等に保存して、ラベル等に所属機関、氏名を記載すること

(2) 受付期間

- ◆ 提出期限：平成23年7月13日（水） 17:00 必着

※ 郵送等の場合は、配達等の都合で締切までに届かない場合がありますので、期限に余裕をもって送付されるようご注意願います。

(3) 提出方法及び提出先

所定の様式を、提出期限までに当財団に提出してください。

なお、提出いただいた書類等は返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。

- ◆ 提出方法：ご持参または、郵便・宅配便等による送付

なお、E-mail および FAX による提出は受け付けられません。

- ◆ 提出先：〒001-0021

札幌市北区北21条西12丁目 北海道大学構内 コラボほっかいどう
公益財団法人 北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）
クラスター研究部 久保、佐藤あて
TEL：011-708-6392

4 審査及び採択後の手続き等

【選定方法】

選定に当たっては、当財団による要件審査を経て、当財団が組織する「審査委員会」において、「事業目的との適合性」及び、下記の「評価の観点」についての書類及び面談（必要に応じて実施：面談審査対象者には別途通知します）による審査を行ったうえで決定します。

○評価の観点

(1)技術的観点	
①研究開発目標の妥当性	研究開発の目標が、具体的かつ明確に設定されていて、且つ妥当であること。
②研究開発計画の妥当性	研究予算を含む研究開発計画が、目標達成の観点で実現性が高いこと。
③研究開発内容の独創性・新規性	研究開発の内容に、独創性又は新規性があること。
(2)産業応用の観点	
④実用化の可能性	将来の実用化、事業化の可能性が高いこと。また、本研究開発に関連する特許又は具体的な知財戦略等を有し、実用化の視点で優位性があること。
⑤地域への波及効果	実用化された場合、地域の振興、産業の発展への波及効果が相当程度見込まれること。

【 内 定 】

平成 23 年 9 月中旬を目途に採否を内定する予定です。採否の結果は、応募者全員（共同研究グループの代表者あて）に対し文書でお知らせします。

なお、補助金申請額の積算内容を精査し、その一部を減額させていただく場合があります。

【 採 択 ・ 公 表 】

採択された研究計画については、補助金交付決定後、財団ホームページにて公表（研究開発テーマ名、研究開発の概要など）いたします。

【 補 助 金 の 交 付 】

採択内定者には、当財団が定める補助金交付申請書を提出していただきます。詳しくは、内定通知時に改めてお知らせします。

【 補 助 金 に 係 る 経 理 】

補助金交付規定等に従って、補助金を適正に執行していただきます。

また、補助金の管理責任は研究代表者が負います。ただし、原則として、補助金に係る経理事務（口座の管理、会計帳簿等への記帳・管理保管、機器設備等財産の取得および管理等）については、研究代表者から所属機関の事務局に委任していただきます。

5 研究開発実施上の留意点

【 報 告 書 等 の 提 出 】

年度末に、補助事業精算報告書及び研究成果報告書を提出していただきます。（報告書には、研究テーマを切り口として、今後の札幌市の福祉産業のあり方についての報告も添えていただきます。）なお、提出いただく報告書の様式等は、補助金交付通知のときに併せて送付・通知します。

また事業終了後、研究成果に関するフォローアップ活動にご協力いただきます。

【 研 究 成 果 の 公 表 】

研究の成果は、公表を原則としておりますので、提出いただいた研究成果報告書は、関係各機関等に配布するとともに、当財団のホームページに掲載させていただく予定です。ただし、特許出願などの知的財産戦略上、支障がある場合は申し出てください。

また、札幌市や当財団が実施する成果報告会、セミナー等で発表していただく場合がありますので、ご協力願います。

【 知 的 財 産 権 の 帰 属 】

本事業により生じた研究成果は、研究代表者および共同研究者に帰属しますが、特許権等の知的財産権の取扱いについては、原則として、研究代表者および共同研究者が所属する大学・研究機関等の規定等に従って下さい。

(様式1)

整理番号

平成 年 月 日

平成23年度 ノーステック財団
「福祉産業共同研究事業」 (札幌市補助事業) 申込書

標記の事業を実施するにあたり (様式2) の事業者の協力が得られることが確認できたので、本書のとおり研究課題を提案いたします。

【 応募区分 】

事業名	補助金名	研究分野
福祉産業共同研究事業		

【 研究開発テーマ 】

研究開発テーマ名	(30字程度)
研究キーワード	
研究開発の概要 (150字以内・ <u>字数厳守</u>)	

【 研究代表者 】

(フリガナ) 氏名	性別	所属機関名 / 役職名
印	男・女	
連絡先	電話番号 () FAX番号 () E-mail :	
所属住所	所属電話番号	
〒	()	
生年月日	19 年 月 日 (歳)	
略 歴	年 月	(最終学歴)
	年 月	
	年 月	
	年 月	現在に至る
所属学会 (役職名)		
主たる研究・技術開発分野		
研究・技術開発キーワード		

過去の研究・技術開発実績（著書、研究論文、特許等）

過去の補助実績

【 他の助成制度での実施（現在申請中のものを含む）の有無 】

※共同研究者として参画している場合も含む（複数回答可）

無 有

実施中 申請中

助成機関名		助成制度名	
研究テーマ名			
助成期間	平成 年 月～平成 年 月	助成金額	

実施中 申請中

助成機関名		助成制度名	
研究テーマ名			
助成期間	平成 年 月～平成 年 月	助成金額	

◆ 記載要領（様式1）

1. 応募区分

- (1) 補助金名：下記のいずれかを記入してください。
 ①冬期安全安心対応型福祉産業研究開発補助金
 ②新分野融合型福祉産業研究開発補助金
- (2) 研究分野：新分野融合型福祉産業研究開発補助金にご応募の場合、研究分野欄の記入も必要です。
 下記の中から該当する分野を記載してください。融合型ですので、必ず複数分野記載してください。

補助金名	研究分野※	
新分野融合型福祉産業 研究開発補助金	① <u>医療分野</u> ② <u>介護分野</u> ③ <u>看護分野</u> ④ <u>福祉分野</u>	①～④の中から必ず1つ記入
	⑤ <u>食品分野</u> ⑥ <u>デザイン分野</u> ⑦ <u>情報通信分野</u> ⑧ <u>ものづくり分野</u> ⑨ <u>その他の分野</u> （ ）	⑤～⑨の中から必ず1つ記入

※最も該当する分野を記載してください。その他の場合、括弧書きで分野名を記載してください。

2. 研究開発テーマ

- (1) 研究開発テーマ名：30字以内で表現してください。
- (2) 研究キーワード：4つ程度記載してください（審査を行うための分野分類の参考とします）。
- (3) 研究開発の概要：研究開発テーマの詳細をコンパクトに取りまとめ、150字以内で表現してください。

3. 研究代表者

- (1) 氏名：フリガナは必ずふってください。認印は必ず必要です。
- (2) 連絡先：日中連絡が取れる連絡先（TEL、FAX、E-mail）を記載してください。
- (3) 所属機関名／役職名：所属機関名には所属部署まで記載してください。
- (4) 生年月日（年齢）：西暦で記載して下さい。
- (5) 略歴：最終学歴、主な職歴等を記載してください。
- (6) 所属学会（役職名）：主なものを3つまで記載してください。役職に就かれている場合はカッコ書きでその役職名を記載してください。
- (7) 研究・技術開発キーワード：主なものを3つまで記載してください。
- (8) 過去の研究・技術開発実績：代表的な著書及び研究論文について、題名、発表誌、出版社名等を記載してください。特許等については、名称及び出願番号を記載してください（申請中を含む）。著者名が多数にわたる場合、数名を記載し以下を省略して下さい。その他、これまで行ってきた研究・技術開発に関して適当な著書、研究論文、特許について該当がない場合等は、その内容を記載してください。
- (9) 過去の補助実績：過去3年間において省庁・自治体・その他助成機関等から補助金の交付を受けた研究について、交付年度、課題名、成果概要、省庁・自治体・機関名、制度名、補助金額を年代の新しい順に記載してください。

4. 他の助成制度での実施の有無（共同研究者として参画している場合も含む。）

本提案と内容が類似していると思われる課題について、他の制度（省庁・自治体・その他の機関等）での実施（現在申請中のものを含む）があれば、その省庁・自治体・機関名、制度名、課題名、期間（予定を含む）、金額を記載してください。

※原則として、他の助成制度の申請テーマが採択され、当財団で採択したものと同一趣旨のものであると判断した場合は、当財団の採択を辞退していただきます。

(様式 2)

【共同研究事業者】

(フリガナ)			
事業者等名称		※札幌市内の事業者に限ります。	
(フリガナ)			
代表者 職・氏名		※必ず押印してください。 (代表者印)	
所在地		〒 —	
		TEL :	FAX :
共同 研究 従 事 者 名 簿	(フリガナ)		
	氏名	所属部署 / 役職	
	E-mail :	TEL	
		FAX	
	職歴・研究歴	※最終学歴から順次箇条書きしてください。	
	(フリガナ)		
	氏名	所属部署 / 役職	
	E-mail :	TEL	
		FAX	
	職歴・研究歴		
	(フリガナ)		
	氏名	所属部署 / 役職	
E-mail :	TEL		
	FAX		
職歴・研究歴			

(様式3)

【共同研究者】

共 同 研 究 者	(フリガナ)				年 齢	歳		
	職／氏 名	印						
		E-mail:						
	所属機関名							
	所属住所等	〒						
		TEL			FAX			
	主たる研究・ 技術開発分野							
	研究・技術 開発キーワード							
	(フリガナ)				年 齢	歳		
	職／氏 名	印						
E-mail:								
所属機関名								
所属住所等	〒							
	TEL			FAX				
主たる研究・ 技術開発分野								
研究・技術 開発キーワード								
(フリガナ)				年 齢	歳			
職／氏 名	印							
	E-mail:							
所属機関名								
所属住所等	〒							
	TEL			FAX				
主たる研究・ 技術開発分野								
研究・技術 開発キーワード								

◆ 記載要領 (様式3)

1. 共同研究者

- (1) 氏 名： フリガナは必ずふってください。
- (2) 所属機関名／役職名： 所属機関名には所属部署まで記載してください。
- (3) 研究キーワード： 主なものを3つまで記載してください。

(様式4)

【 外部協力者 (本研究開発に伴う指導・助言等の役割を担う方) 】

外 部	(フリガナ)				年 齢	歳		
	職／氏 名	印						
		E-mail:						
	所属機関名							
	所属住所等	〒						
		TEL		FAX				
	主たる研究・ 技術開発分野							
研究・技術 開発キーワード								
協 力 者	(フリガナ)				年 齢	歳		
	職／氏 名	印						
		E-mail:						
	所属機関名							
	所属住所等	〒						
		TEL		FAX				
	主たる研究・ 技術開発分野							
研究・技術 開発キーワード								
者	(フリガナ)				年 齢	歳		
	職／氏 名	印						
		E-mail:						
	所属機関名							
	所属住所等	〒						
		TEL		FAX				
	主たる研究・ 技術開発分野							
研究・技術 開発キーワード								

◆ 記載要領 (様式4)

1. 外部協力者： 本研究開発に伴う指導・助言等の役割を担う方を記載して下さい

(1) 氏 名： フリガナは必ずふってください。

(2) 所属機関名／役職名： 所属機関名には所属部署まで記載してください。

(3) 研究キーワード： 主なものを3つまで記載してください。

(様式5)

【 研究開発テーマの詳細 】

研究開発の背景及び目的

研究開発の達成目標

研究開発の内容及び方法

本研究に係るこれまでの研究蓄積

製品化・事業化の見通し

研究開発終了後の展開

◆ 記載要領（様式5）

1. 研究開発テーマの詳細

- (1) **研究開発の背景及び目的**： 当該研究開発を計画するに至った背景及び目的を、その必要性、解決すべき課題などを交えて記載してください。
- (2) **研究開発の達成目標**： 当該研究開発終了時における成果の達成目標を、目標設定の根拠を含めて、具体的に記載してください。
- (3) **研究開発の内容及び方法**： 当該研究開発の内容及び方法を、独創性、新規性などにも触れ、具体的に記載してください。
- (4) **本研究に係るこれまでの研究蓄積**： 本研究開発の基となる、研究成果、技術シーズ、特許等を記載してください。また、これまでに本研究に関連した競争的資金などを利用した研究を実施している場合、その成果の概要を記載してください。
- (5) **製品化・事業化の見通し**： 本研究開発成果を基として、今後どのような製品化・事業化の可能性があり、それがどのように産業及び地域に貢献するか記載してください（可能な限り定量的に表現してください）。
- (6) **研究開発終了後の展開**： 本研究開発終了後、研究成果をどのように実用化につなげていくか、今後想定される共同研究先や、導入したい競争的資金などを含めて記載してください。

※様式5全体で、3枚以内で記載してください。

(様式6)

【 共同研究における研究分担 】

所属機関名、研究者氏名	研 究 分 担

◆ **記載要領 (様式6)**

1. **研究分担：** 研究者（共同研究者および外部協力者を含む）の研究分担について、具体的に記載してください。

(様式 7)

【 研究開発費の内訳 】

(単位 : 円)

補助対象 経費区分	補助対象 経費総額	積算内訳 (単価・数量・使用目的等)
旅 費		
謝 金 等		
原材料・消耗品費		
研究補助員賃金		
通 信 ・ 運 搬 費		
機 器 リ ー ス 料		
機 器 購 入 費		
施 設 及 び 設 備 等 賃 借 料		
外 注 費		
その他の経費		
合 計		

◆ 記載要領 (様式 7)

1. 積算内訳: 研究開発費総額に対し、支出科目ごとに単価・数量・使用目的等を具体的に記載してください(書ききれない場合は、別葉としてください)。

(様式8)

【その他】

◆ 記載要領 (様式 8)

1. その他 : フリー・シートです。当該研究開発の重要性等について、指定様式で表現しきれなかった事項をご自由に記載してください (ただし、1~2枚程度とします)。

- e.g.
- ◆ 研究内容を図示するなどして、審査員の理解の助けとする。
 - ◆ 現在までの自己又は他の研究者の類似研究とその相異を明らかにし、今回応募した研究開発の独創性、実現可能性などを明らかにする。
 - ◆ 指定様式では欄が狭くて書ききれなかったものを追加で記載する。 Etc

【その他注意事項】

- (1) 同一の研究者または共同研究グループが、今回の公募で応募できる申込は1件に限ります。
- (2) 研究代表者または共同研究者が、既に他の助成を受けており、その研究に100%専念する義務がある場合は、応募できません。
- (3) 各様式とも手書き、切り貼りしたものは一切受け付けません。
- (4) 著書・論文等の参考資料につきましては、必要な場合こちらから請求しますので、添付しないでください。

〈お問い合わせ先〉

〒001-0021 札幌市北区北 21 条西 12 丁目 北海道大学構内 コラボほっかいどう
公益財団法人北海道科学技術総合振興センター(ノーステック財団)
クラスター研究部

TEL 011-708-6392 FAX 011-747-1911

URL <http://www.noastec.jp>